

USB/COM 接続でリーダ・ライタに接続できない場合の対処方法 (FTDI USB ドライバ 2.12.36.20 対応手順書)

1. 対象

お客様が開発されたアプリや弊社のアプリでリーダ・ライタに接続できなくなった方を対象としています。

2. 背景と原因

2025 年 3 月に FTDI 社より Windows 用 USB ドライバ (D2XX Direct Driver) **Ver 2.12.36.20** がリリースされました。

本バージョンでは「Serial Enumerator (プラグ アンド プレイ認識)」が既定で無効となり、Windows の Plug and Play (PnP) による COM ポートの自動認識動作が既定で行われなくなりました。

この変更により、弊社 API (spapi.dll : **ST0318.100** 以前) および当該 API を使用する弊社製の一部アプリケーションが正常動作しない場合がございます。

3. 影響範囲

- 影響を受ける接続形態
 - USB : USB で接続
 - RS232C : FTDI チップ搭載の「RS-232C ⇔ USB 変換ケーブル」を使用した接続
- 影響を受けない接続形態
 - RS-232C : 物理 COM ポート搭載 PC との接続
 - LAN (Ethernet) : LAN で接続

4. 対応方法

本件につきましては、下のいずれかの方法にてご対応くださいますようお願い申し上げます。

(1) 新バージョンの API (spapi.dll : ST0318.100 以降) に更新する方法

(2) COM ポートで「プラグ アンド プレイ認識」を有効化する方法

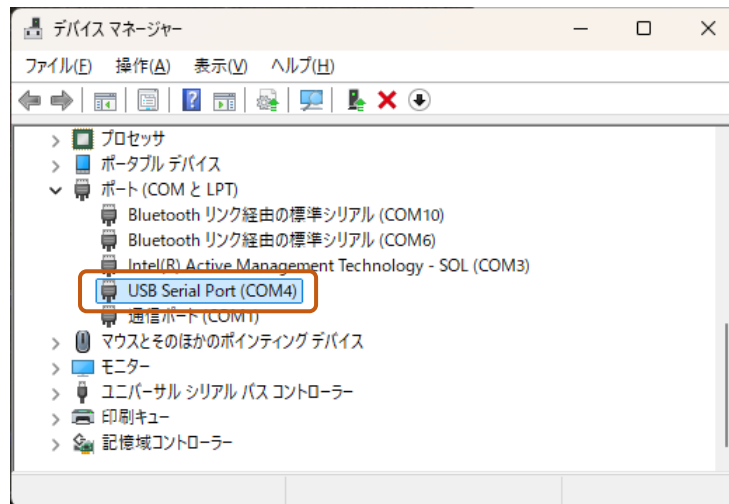
下に各方法の手順を記します。

4.1. 新バージョンの API (spapi.dll : ST0318.100 以降) に更新

- ・ 弊社 Web サイトより新バージョンの API (spapi.dll : ST0318.100 以降) を入手します。
 1. 弊社ホームページ (<https://artfinex.co.jp/>) にアクセスしてください。
 2. ページ上部のタブメニューより「UHF 帯製品紹介」→「制御情報・オプション・サポート」を順にクリックします。
 3. ページ中ほどの「UHF 帯リーダ・ライタ 保証・サポート」欄にある「API (dll) 」をクリックしてダウンロードします。(解凍時にパスワードが必要です)
- ・ API は 32bit 用と 64bit 用の 2 種類ありますので、お使いの Windows アプリに適した方をお使いください。
弊社製サンプルアプリケーションの API は **32bit 用**で、実行ファイルと同じフォルダにあります。
- ・ 念のためご使用中の API (spapi.dll) をバックアップ (ファイル名変更など) したうえで、新しい API に置き換えてください。

4.2. COM ポートで「プラグ アンド プレイ認識」を有効化

- ・ デバイスマネージャーを開き、RFID リーダ・ライタが接続されている COM ポート番号を確認します。
下図は COM4 だった場合です。



- ・ その COM ポートを右クリック－[プロパティ]－[ポートの設定] で下のダイアログを開きます。



- ・ [詳細設定] をクリックして詳細設定ダイアログを開きます。

COM4 の詳細設定

COMポート番号(P): COM4

USB転送サイズ
低ボーレートでのパフォーマンスを修正する場合は、低い設定にしてください。
高速パフォーマンスの場合は、高い設定にしてください。

受信 (バイト): 4096

送信 (バイト): 4096

BMオプション
レスポンス問題を修正するには、低い設定にしてください

待ち時間 (msec): 1

タイムアウト
最小読み込みタイムアウト (msec): 0

最小書き込みタイムアウト (msec): 0

その他のオプション

プラグアンドプレイ認識 ☒

シリアルプリンター認識 ☐

パワーオフ キャンセル ☐

USB未接続 ☐

クローズ時のRTS設定 ☐

起動時のモデムコントロール無効設定 ☐

Enable Selective Suspend ☐

Selective Suspend Idle Timeout (secs): 5

OK

キャンセル

既定値(D)

- ・ [プラグアンドプレイ認識] にチェックを入れて [OK] します。
- ・ 必要に応じて再起動してください。

※ 複数の COM ポートをご使用の場合、それぞれ設定が必要です。

5. 新 FTDI USB ドライバに対応した弊社アプリケーション

FTDI USB ドライバ Ver 2.12.36.20 に対応した下の弊社アプリケーションをご用意しました。

- ・IC タグライター (ST0332.200)
- ・RFID2KBD (3.0.3.0)
- ・LendingManagement (4.0.0.0)
- ・TagAction (1.2.0.0)
- ・UBarTool (2.7.0.0)
- ・UHF_LED_Tag (1.7.0.0)

弊社 Web サイトよりダウンロードいただけます。

1. 弊社ホームページ (<https://artfinex.co.jp/>) にアクセスしてください。
2. ページ上部のタブメニューより「UHF 帯製品紹介」→「制御情報・オプション・サポート」を順にクリックします。
3. ページ下の「ソフトウェアのダウンロード」欄にあるアプリケーションをクリックしてダウンロードします。
(解凍時にパスワードが必要です)

ソフトウェアのダウンロード

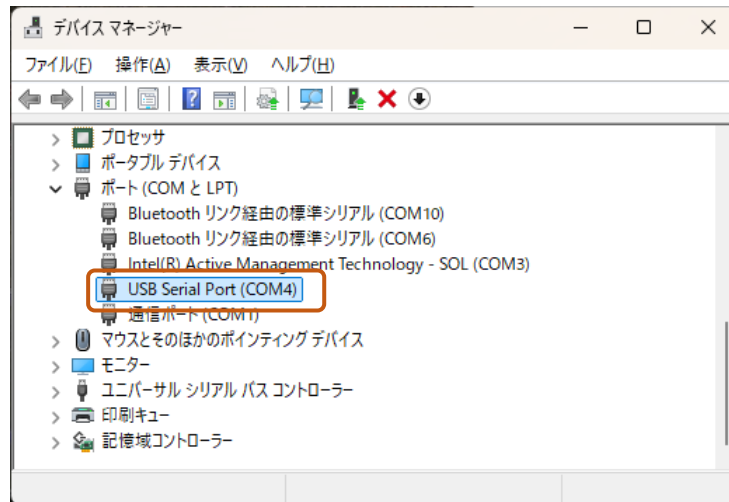
zip	UHF帯RFID評価用アプリケーション「ICタグライター」(ST0332.200)(7,231KB)
zip	EPCデコード機能付キーボードエミュレーションツール「RFID2KBD-3030」(.NET4.6)(3,796KB)
zip	貸出管理サンプルアプリ「LendingManagement」(.NET3.5) (実行ファイル) (3,631KB)
zip	貸出管理サンプルアプリ「LendingManagement」 (ソースファイル) (27,426KB)
zip	貸出管理サンプルアプリ「LendingManagement(UBar版)」(.NET3.5) (3,707KB)
zip	タグに応じたURLや動画などを表示するサンプルアプリ「TagAction-1200」(.NET4.6)(4,940KB)
zip	UBar-200f-J2-2D(USB-HID)-V2用ツール (2.7.0) (2,519KB)
zip	自律動作W2モデル用ツール(1.0.4)(7,187KB)
zip	UHF帯LEDタグ用サンプルアプリ「UHF_LED_Tag」(922KB)
zip	IPアドレス設定ツール「LANManager」(4.0.0.0)(912KB)
zip	ラズパイ用サンプルソース (python) (614KB)
zip	インタフェース設定ツール(133MB)
	UHF RFID評価用(USB)AndroidAPL(Googleplay) プライバシーポリシー

6. バージョン確認方法

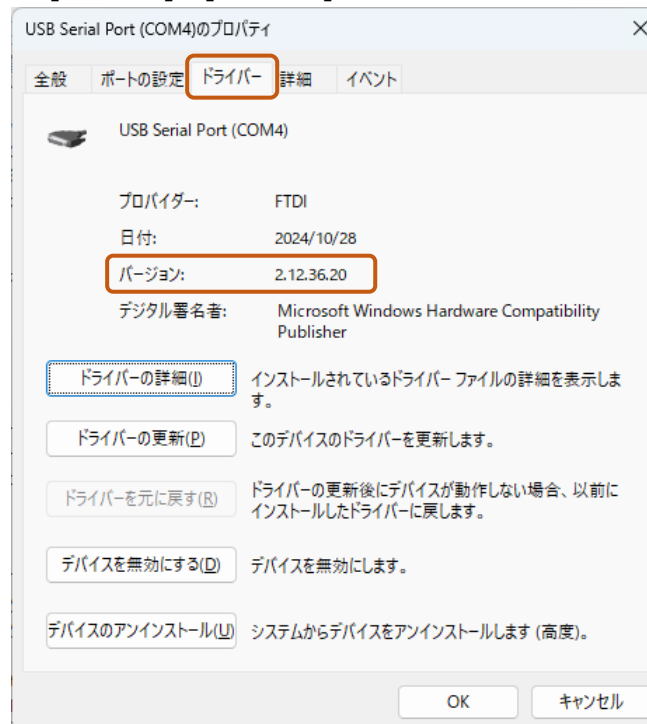
6.1. USB ドライバのバージョン確認方法

デバイスマネージャーを開き、RFID リーダ・ライタが接続されている COM ポート番号を確認します。

下図は COM4 だった場合です。



その COM ポートを右クリック－[プロパティ]－[ドライバー] で下のダイアログを開きます。



USB ドライバのバージョンが「バージョン」欄に表示されています。

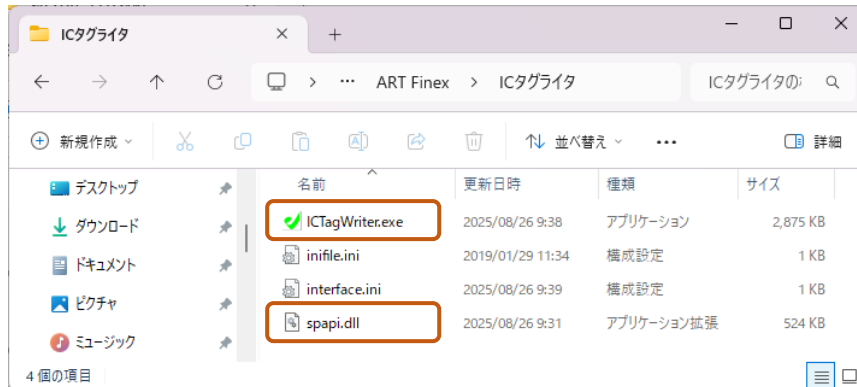
6.2. API (spapi.dll) のバージョン確認方法

エクスプローラで使用中の API (spapi.dll) があるフォルダを開きます。

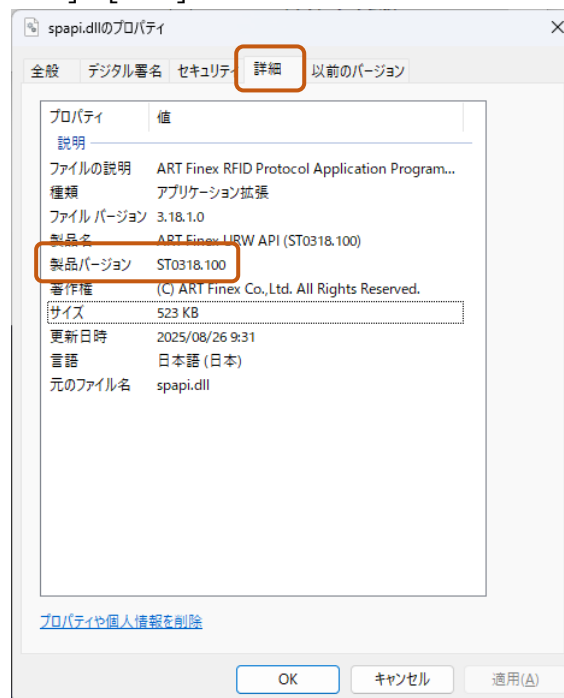
弊社製サンプルアプリケーションの API は実行ファイルと同じフォルダにあります。

例えば、IC タグライターの場合、インストール先のフォルダを開くと下図のように実行ファイル ICTagWriter.exe と API (spapi.dll) があります。

(インストール時にインストール先を設定していればそこにあります。一方デフォルトのままインストールしていれば「C:¥ART Finex¥IC タグライター¥」にあります。)



spapi.dll を右クリック - [プロパティ] - [詳細] で下のダイアログを開きます。



API のバージョンが「製品バージョン」欄に記載されています。

以上